

# 中央大学杉並高等学校 学校通信



さんさん

# 杉燦

中央大学杉並高等学校

総務部発行

2022年度第1号(通算104号)

<http://www.chusugi.jp>

〒167-0035 杉並区今川 2-7-1

☎03-3390-3175

無断転載禁止・不許複製

# 60期生 入学おめでとう！

2022年4月8日（金）、中央大学杉並高等学校第60回入学式が本校体育館にて行われました。新入生・来賓・保護者の方（各御家庭より1名）・教職員の参列、全員マスク着用での実施となりました。来賓をお迎えできたのはコロナ前の第57回入学式以来です。式では音楽部が作成した校歌歌唱の映像が紹介され、新入生は嬉しそうに見入っていました。324名の中校生のデビューです。

## 入学式次第

開式の辞

校歌紹介

新入生呼名

学校長式辞

祝辞

新入生代表宣誓

新入生代表

学年担当教員紹介

閉式の辞

校長 大田 美和

中央大学副学長

橋本 基弘

新入生代表

新入生代表

M・H



## 入学式式辞 「一個の人間であれ」

中央大学杉並高等学校

校長 大田 美和



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様にも教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。今日は中央大学から、副学長の橋本基弘先生、学校法人中央大学常任理事の松丸和夫先生が来賓としてご出席下さっています。ありがとうございます。私は中央大学文学部で英語と文学を教えています。今日は中央大学杉並高校の栄えある第六十期生として入学された皆さんに、入学のお祝いとして、勇気と喜びを与える詩の言葉を贈りたいと思います。朗読しますので、聴いて下さい。

一個の人間

武者小路実篤

自分は一個の人間でありたい。

誰にも利用されない

誰にも頭を下げない

一個の人間でありたい。

他人を利用したり

他人を歪にしたりしない

そのかわり自分も歪にされない

一個の人間でありたい。

自分は最も深い泉から

最も新鮮な

生命の泉をくみとる  
 一個の人間でありたい。

誰もが見て

これでこそ人間だと思っ

一個の人間

自分はそういう人間を実に愛する。

ずるい人間、うそつき人間

自分と同じことをする人間を

すまして非難する人間を

僕は軽蔑するものだ。

本音を吐く事を恐れず

生きぬく事が出来る

一個の人間

僕はそれが好きなのだ

一個の人間。

一個の人間

一個の人間でいいのではないか

一個の人間！

『武者小路実篤詩集』大和書房、一九六四年

これは、明治時代から昭和時代を生きた作家の武者小路実篤の「一個の人間」という詩です。

「誰もが見て／これでこそ人間だと思っ／一個の人間／自分はそのような人間を実に愛する。」という一節があります。どのような人間でしょうか。みんなが「立派な人だなあ」、「ものすごい才能の持ち主だなあ」と感心す

るような人でしょうか。いいえ、そうではないでしょう。「本音を吐く事を恐れず／生き抜く事が出来る／一個の人間／僕はそれが好きなのだ」と言っています。「あんなに頑張ったのにどうしていい結果が出ないんだろう」と時には弱音を吐く事も、人間らしさとして認めているように思います。

この詩の別のヴァージョンには、「独立人同士が／愛しあい、尊敬しあい、力をあわせる。／それは実に美しいことだ。」という一節があります。「一個の人間」というただ一つの理想像があるのではなく、それぞれが自分自身を「一個の人間」として完成させていけばよいということなのでしょう。一人ひとりの人間が、お互いの違いを認め合い、尊重し合って、一緒に力を合わせて社会を作っていくことを理想として掲げているところに、共感します。これはダイバーシティの推進ですね。

この詩の中でもっとも印象的なフレーズは、「自分は最も深い泉から／最も新鮮な／生命の泉をくみとる／一個の人間でありたい。」であると思います。皆さんは、自分の中に、深い泉があつて、そこに新鮮な生命の泉が湧き出ていることを感じていますか？ 高校三年間というのは、仲間と切磋琢磨し、共に育っていく歳月であると同時に、自分という人間を育てていく時間でもあります。時には一人になって、スマホから離れて、読書をしたり、芸術作品を鑑賞したりして、過去に生きた人たちが考えたことや表現したことと向き合って、自分自身の心の泉を豊かなものにしていって下さい。

中央大学杉並高校に入学した皆さんは、選ばれた人、恵まれた人です。恵まれた人には、「ノーブレス・オブリージ」、高貴な人に課される義務があります。授業で与えられた課題をこなすだけでは、その義務を果たしたことはありません。皆さんが「ノーブレス・オブリージ」という義務を果たせるように、私たち教職員は、全力でサポートします。

私は皆さんにものを深く感じることができ、物事を深く考え

ることが出来る、本当の意味で聡明な大人になってほしいと願っています。社会の一員である私たち一人ひとりが、なすべきことをすれば、この社会は少しずつ良い方向に変わっていくのではないのでしょうか。

たった一度きりの人生をどのように生きるかは、あなたたち自身の主体的な行動にかかっています。皆さんが高校三年間の学びを通して、大きく成長することを願って、入学式の式辞といたします。

※ 東京都調布市には武者小路実篤記念館があり、武蔵野の面影を残す林と池のある庭を散策することができます。記念館のHPでは、俳優によるこの詩の朗読を聴くことができます。

## 祝辞

中央大学副学長 橋本 基弘



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。ご父母のみなさまにおかれましては、お子様の成長を感慨深く思われているのではと拝察いたします。心よりお祝い申し上げます。

新入生のみなさんは、ここに来るとき、これから待っている高校生活への期待と不安が入り混じった、なんともいえない気持ちを持たれたのではないのでしょうか。私自身、高校に入学するときの気持ちを今でも思い出すことができます。その朝の天気や空感、親の表情など、なぜこんなことまで覚えているのかと思うもので、はつきりと思いません。

高校の入学式の記憶は、生きるうえでも大きな節目だったから、そのような記憶が残っているのでしょう。みなさんは、小さなコミュニティーで生まれ、小学校まで過ごし、少し広いコミュニティーである中学校で過ごし、しかし、高等学校は違います。ここでみなさんが出会うクラスメイトは、生まれも育ちもまったく異なる場所から通ってきます。杉並や練馬、

武蔵野市といった地域を遥かに超え、遠くは千葉や横浜あたりから通学してきます。これは、みなさんにとつては大きな出来事です。大げさに言うとも、異文化との遭遇なのです。世界は格段に広がります。ものの考え方や感じ方に大きな影響を及ぼすことになります。未知との遭遇への不安と期待がみなさんの胸に押し寄せているのではないのでしょうか。

生きていくと大きな節目に何度も出会います。その最初のステップが高校入学だったと思うのです。ですから、どうか、たくさんの友人と出会い、自分を見つめ、友人を思い、実りある三年間を過ごしてください。とくに、中央大学杉並高等学校は、中学からの持ち上がりがありません。これは、大きなメリットです。新鮮な気持ちで、新しい世界と向き合えるのですから。

世界は今、歴史的な事件を目撃しています。二十一世紀に侵略戦争を目の当たりにするなど、ついこの間まで考えてもみませんでした。また、新型コロナウイルスは、私たちの日常生活を変えてしまいました。当たり前のことが当たり前でなくなっています。およそ百年前も今と同じ、パンデミックと戦争が世界を絶望させていました。その中で、無力な人間は右往左往し、世界や社会は分断されました。歴史から学べと言いますが、それがいかに難しいことか、改めて思い知らされます。

これまで社会を牽引してきた大人世代は、経済成長や比較的平和な世界の中で生きてこられました。しかし、みなさんを待ち受けている未来は、不安定で、不確実で、複雑化しています。今以上に、貧困や戦争と向き合わなければならぬかもしれません。これは冷静に見ておく必要があります。ただ、それでも人間は困難さを克服してきたのです。高校時代に読んだフランス文学者のエッセーに「人間は危機の中でしか成長しない」という言葉があったのを思い出します。自分たちの未来を作るのは、みなさん自身なのではないでしょうか。

高校三年間で、たくさん本を読んでもください。たくさん映画を見たり、たくさん音楽を聴いたりしてください。それと同時に、歴史と数学、外国語を学んでください。生物や物理、化学の知識も必須です。この三年間でみなさんが見聞きしたこと、学んだことは、みなさんのものの見方を育み、一個の人間として成長することを手助けします。教養とは、湧き水のようなものだと思います。森に降り注いだ雨水が、何年もかけて地下を流れ、やがて湧

き出てきます。高校時代の自由な時間で学んだことと大学の学びが重なったとき、みなさんに社会を変えていく力が宿ります。何より楽しい高校生活を過ごしてください。実りある三年間であることをお祈りします。



## 新入生宣誓



暖かな春の花々が咲き、草木も芽吹き始めた今日、私たちは中央大学杉並高等学校の入学式を迎えることとなりました。校長先生や教職員の方々、ご来賓の皆様、本日はこのような素晴らしい式を挙行していただきありがとうございます。新型コロナウイルスの感染が収まらない中でも、こうして入学式を迎えることができ、とても嬉しく思います。

私は高校生活の中で楽しむことが二つあります。一つ目は、交友関係です。私は中学校の行事や部活動で、お互いに支え合える仲間がいることの素晴らしいさを実感しました。中杉は一年年の人数が多いので、たくさんの人と出会い、生涯付き合っていくような友人をつくりたいと思っています。

二つ目は、部活動です。部活動は、私が中杉に入りたいと思った理由の一つです。昨年は学校見学や行事に参加することが難しかったため、ホームページなどのメディアを通じて中杉の活動の様子を見ました。それらを見ると、どれも先輩方が生き生きと生きていて、私もこの学校で熱中できることを見つけ、打ち込むことよって成長したいと強く思いました。私はまだ、中杉で入りたい部活動が明確には決まっていませんが、入る部活動が決まったら、そこで新しい仲間と共に、精一杯努力をしようと思っています。

今年から成人年齢が十八歳に引き下げられるため、私達は高校三年生になると成人を迎えることになります。私はそれまでに社会で必要な知識や精神を身に付けられるよう、何事にも積極的に挑戦しようと思えます。これからこの中央大学杉並高等学校で学ぶ仲間たちと共に、少しずつ、しかし確実に、立派な大人になれるよう、日々精進していきます。温かく、そして時に厳しく、ご指導いただきますようよろしくお願いいたします。

令和四年 四月八日

中央大学杉並高等学校

第六十期新入生代表

M・H



# 教職員紹介

※（ ）内は担当科目です。

※5月下旬に配布される『学校要覧』もご覧ください。

校長 : 大田美和  
副校長 : 谷内田一郎  
教頭 : 山田篤史(3年・地理特論)

教務部主任 : 梅田洋一 (3年・物理、物理実験+演習)  
総務部主任 : 池田尚子 (2年・現代文、3年・論文)  
生徒部主任 : 櫻井公博 (1年&2年・男子体育)

	1年	2年	3年
学年主任	後藤大祐 ※兼2・5組副担任 (1年&2年・男子体育)	及川ゆき ※兼5・6組副担任 (2年・コミュ英語Ⅱ)	小泉尚子 ※兼5・7組副担任 (3年・現代文、論文)
1組	武田一孝 (1年・数学Ⅰ、2年・数学Ⅱ)	山崎尊 (2年・物理基礎)	石川茂典 (1年&3年・女子体育、2年・保健)
2組	富澤真紀 (1年・音楽Ⅰ、3年・音楽Ⅱ)	岡田輝子 (2年・数学Ⅱ、3年・教養数学)	新井原博嗣 (3年・化学)
3組	重枝一弘 (3年・戦後世界)	新嶋聡 (1年・歴史総合、3年・現代社会論)	滝澤孝 (3年・コミュ英語Ⅲ、英語表現Ⅱ)
4組	影山彰 (3年・化学演習)	町田明弘 (1年・生物基礎)	玉田香苗 (1年・保健、2年&3年・女子体育)
5組	前野桃子 (1年・コミュ英語Ⅰ、論理・表現Ⅰ)	菊地明範 (2年・古典、3年・古典、論文)	柄 浩司 (3年・日本史B)
6組	原空留未 (1年・言語文化、2年・現代文、3年・論文)	加藤将昭 (2年・数学Ⅱ、数学B)	土井ゆかり (3年・コミュ英語Ⅲ)
7組	生田研一郎 (1年・情報Ⅰ)	飯田裕子 (2年・コミュ英語Ⅱ、英語表現Ⅱ)	佐藤 功 (3年・倫理、思想)
8組	大山裕隆 (1年・コミュ英語Ⅰ 論理・表現Ⅰ、3年・英会話)	山田恒平 (2年&3年・男子体育、2年・保健)	家本繁 (1年・数学Ⅰ、3年・数学Ⅲ)
9組	🌀	🌀	辰見憲 (1年・数学A、3年・数学Ⅲ、数学演習)
副担任	榎本幸一 ※6・8組副担任 (1年・歴史総合 2年・日本史)	鈴木章弘 ※3・4・7組副担任 (2年・現代文、3年・論文、小説講読)	伊藤好美 ※2・9組副担任 (2年・古典、3年・現代文)
	大塚圭 ※3・7組副担任 (1年・コミュ英語Ⅰ、論理・表現Ⅰ)	渡邊和樹 ※1・2・8組副担任 (2年・英語表現Ⅱ)	垣塚菜生 ※1・6・8組副担任 (3年・コミュ英語Ⅲ、英語演習)
	駒ヶ嶺泰暁 ※1・4組副担任 (1年・言語文化3年・論文、書いて味わう古典)	🌀	大館瑞城 ※3・4組副担任 (1年・現代の国語、3年・論文)
保健室	岡村有希・仲野玲央	スクールカウンセラー 小林道代	校医 佐藤清貴

事務室	事務長 : 佐々木 文昭
	課長 : 宮崎 賢
	副課長 : 岸野俊一郎・清水美紀
	事務職員 : 青山香織・浅野ひかり・若鍋法子
	図書室 : 鈴木万梨子

【出向中】 齋藤 祐(国語科) ⇒中大附属中〔小金井〕へ(5年目)



## 活動報告

# 1年生・オリエンテーション合宿

4月11～13日（前半クラス）、13日～15日（後半クラス）にかけて1年生対象のオリエンテーション合宿が行われました。校外での実施は57期以来です。場所は従来の河口湖から長味の菅平高原に移しました。様々なプログラムが用意され、楽しく学び多い3日間となりました。

### ～3日間の主な内容～

#### 【1日目】

##### ◎中杉&中大を知る

…生徒心得・中大推薦基準・進級基準・中央大学について等の説明を聞く

##### ◎ホームルーム

…自己紹介、委員決め、ダイバーシティについて学ぶ etc.

#### 【2日目】

##### ◎小テスト実施

…国語、英語、数学

##### ◎チャレンジワークショップ

…屋内外で様々な課題をクリアし、チームワークを発揮しました！

##### ◎ホームルーム

…球技大会の流れの確認 etc.

#### 【3日目】

##### ◎学年研修

…SNS利用上の注意を聞く、「総合的な探究の時間」の体験



## 新任教員より

今年度より2名の先生方が中杉のスタッフとして加わりました。どうぞよろしくお願いいたします！

### 2学年スタッフ 渡邊 和樹（外国語科）

今年度、2学年の英語の授業とポート部の顧問を担当します。渡邊和樹です。よろしくお願いします。

さて、皆さんは”instagrammable”という英単語を知っているでしょうか？これは「インスタ映えする」という意味の新しい英単語で、実際にケンブリッジの英英辞書などにも載っている言葉です。僕が高校生だった頃にはこのような英単語はありませんでした。

「言葉は生き物だ」という話は皆さんよく耳にするかもしれません。時代の変化とともに、言葉も変化しています。この激動の時代の中、自分自身も1人の英語学習者として、常に新しい英語、生きた英語をアップデートしながら皆さんに楽しく英語を教えていきたいと思えます。改めて、一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

### 3学年スタッフ 伊藤 好美（国語科）

はじめまして、国語科新任の伊藤好美と申します。どうぞ宜しくお願いします。

「多様性」という言葉が浸透してきた現在、自分とは異なる境遇にある人々の考え方や感じ方を理解することは大切です。しかし、まだまだコロナ禍が続く状況下では交流できる人の数も限られていますね。そんな時にこそ文章の中にもある出会いを楽しみましょう。

たとえば、古典文学作品を読むと、平安や鎌倉時代の人たちに共感できることがあります。決して会うことのできない人と時空を越えて心を通わせることは、不思議かつ面白い体験です。また、現代の文学作品や評論文を読めば、自分の周りにはいないタイプの人たちの思考を知ることができます。そこからきっと、多様な視点や価値観が養われていくはずですよ。

私は中杉の皆さんと出会えたことを大変嬉しく思っています。これから一緒に文章の中の出会いも楽しんでいきましょう。

# 行事予定

※ 夏休み明けまでの日程です。社会状況により日時、内容は変更になる場合があります。

5月6・9・10日(金・月・火)	学年別球技大会 6日:2年、9日:1年、10日:3年	感染予防対策を徹底したうえで実施します。競技種目はバレーボール、バスケットボール、サッカーです。(雨天の場合は各予備日に順延します。)
5月7日(土)	3年生・ケンブリッジ英検	結果は「成績C」として算入されます。1・2年生はこの日、自宅学習となります。
5月11日(水)	1年生・荻窪警察講演会	荻窪警察署生活安全課の方をお迎えし、薬物被害についてのお話を聴きます。
5月21日(土)	第1回学級代表委員会	後援会代表役員を引き受けていただいた方にお集まりいただきます。
5月23日(月)～5月31日(火)	後援会総会	今年度も書面開催と致します。ご協力よろしくお願い致します。
5月25日(水)	自宅学習日	教職員健診のため、生徒は登校禁止です。一斉テストに備えてください。
5月26・27日(木・金)	一斉テスト	<b>27日午後は防災訓練を行います。</b> テスト科目は以下の通りです。 <b>1年生</b> 現代の国語、言語文化、数学Ⅰ、数学A、生物基礎、コミュ英語Ⅰ(6科目・5時間) <b>2年生</b> 現代文&古典、世界史B、日本史、数学Ⅱ、数学B、物理基礎、コミュ英語Ⅱ(8科目・7時間) <b>3年生(文)</b> 現代文、古典、日本史B、戦後世界、コミュ英語Ⅲ、教養数学(6科目・6時間) <b>3年生(文理)</b> 現代文、数学Ⅲ甲・乙、物理、化学、コミュ英語Ⅲ、戦後世界(6科目・7時間)
5月30日(月)、6月6日(月)	1年生・普通救命講習会	東京消防庁荻窪消防署のご協力のもと、1年生全員が受講します。
6月2日(木)、3日(金)	公開授業	両日2～4限(10:25～13:00)の間で授業を公開します。どうぞお越しください。
6月18日(土)	学部選択相談会 (法・総合政策・国際経営)	法学部・総合政策学部・国際経営学部の学部説明会を多摩キャンパスにて行います。原則として、生徒は全員参加となります。保護者の皆様も参加可です。詳細は4月22日付で発信したさくら連絡網をご覧ください。
6月22日(水)	ようこそ卒業生(6限)	様々な大学・学部に進学した卒業生が、大学生活について語ります。
7月1・2・4・5・6日 (金・土・月・火・水)	期末試験	原則として、1日2～3科目実施されます。テスト1週間前からクラブ活動禁止です。試験終了翌日から答案返却日までは自宅学習期間となります(クラブはあります)。
7月14日(木)	芸術鑑賞教室(全学年)	新国立劇場でオペラを鑑賞します。現地集合現地解散。要出席日です。
7月15日(金)	答案返却日	期末テストの全ての答案が返却されます。返却後、よく復習をしておきましょう。
7月16日(土)	学部選択相談会 (商・経済・文)	6月18日と同様、商学部・経済学部・文学部の説明会を多摩キャンパスにて行います。詳細はさくら連絡網をご覧ください。
7月20日(水)	終業式、保護者会	終業式の後、HRで通知表を渡します。保護者会でも通知票コピーをお渡しします。
7月24日(日)～27日(水)	屋久島研修(全学年有志)	土曜講座の事前学習を受講している生徒が実地研修をします。
7月31日(日)	学部選択セミナー(理工)	理工学部説明会を後楽園キャンパスにて行います。生徒・保護者共自由参加です。
8月1日(月)	学部選択セミナー(国情)	国際情報学部説明会を行います。生徒・保護者共自由参加です。
8月26日(金)～29日(月)	奄美大島研修(2・3年有志)	土曜講座の事前学習を受講している生徒が実地研修をします。
9月1日(木)	始業式	9:40HR着席、10:00始業式開式です。

編集部より 新カリキュラム施行の60期生を迎え、2022年度が始まりました。今年度もよろしくお願い致します。(小泉・鈴木)